

第一回「地域と共生する超小型モビリティ勉強会」 議事録

1. 日時

平成 28 年 12 月 21 日（水）17：00～19：00

2. 場所

共用 104 会議室（経済産業省別館）

3. 出席者

鎌田実 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

石田東生 筑波大学システム情報系社会工学域 教授

国交省自動車局（事務局）、都市局、道路局、観光庁

環境省、経産省

自治体（横浜市、さいたま市、東京都）、民間各社 等

（詳細は「地域と共生する超小型モビリティ勉強会 会員」参照）

4. 議題

① 発表

・これまでの成果と今後（国土交通省）

・超小型モビリティの取組みと今後の展望（トヨタ・日産・ホンダ）

② 質疑・意見交換

5. 議事要旨

- ・ 自動車局環境政策課長による開会の挨拶、出席者自己紹介に続き、国土交通省及びトヨタ・日産・ホンダから議題①の発表を行った。
- ・ 議題②においては、主に以下について議論が行われた。
 - 超小型モビリティの分類（速度、車幅等）
 - 駐車スペースの確保や路上駐車に係る課題
 - 安全確保の方策
 - 地域の移動手段の確保の必要性
 - 離島における活用方策
 - 社会受容性や自動運転との関係
- ・ 次回は2月目途で開催することとし、駐車スペースや車格、低速モビリティ等に関して議題とすることとなった。

以上